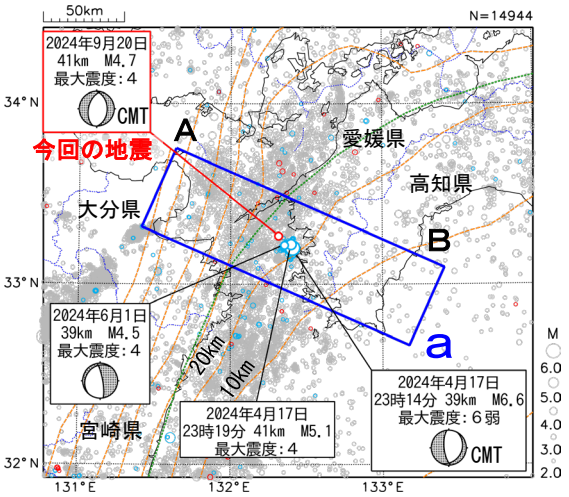
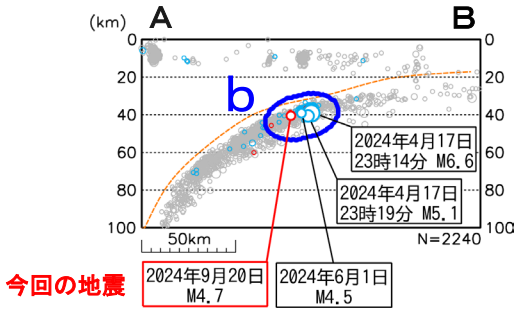
９月 20 日　豊後水道の地震

震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2024 年９月 30 日、
深さ０～100km、M≧2.0）
2024 年４月 17 日～８月 31 日の地震を水色で表示
2024 年９月の地震を赤色で表示
それ以外の期間の地震を灰色で表示

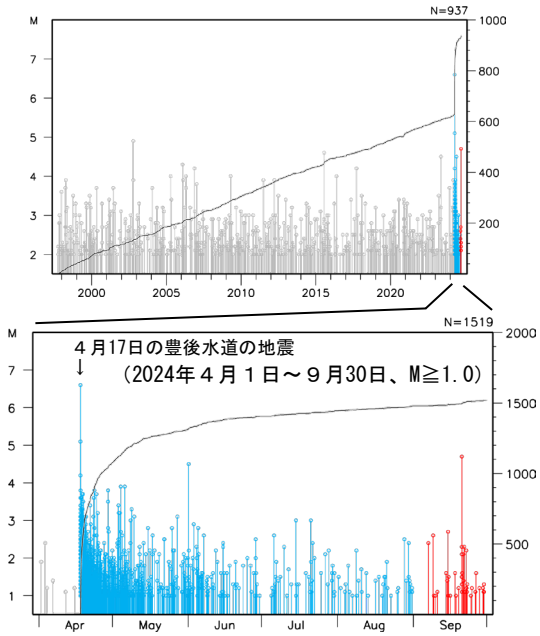


領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



橙色の破線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。
緑色の破線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

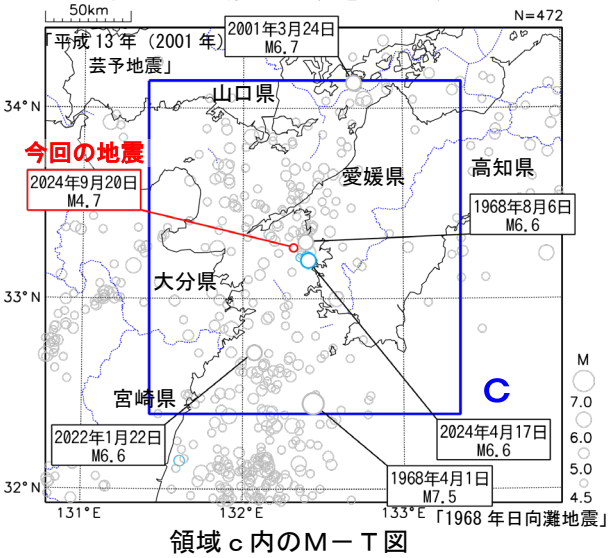
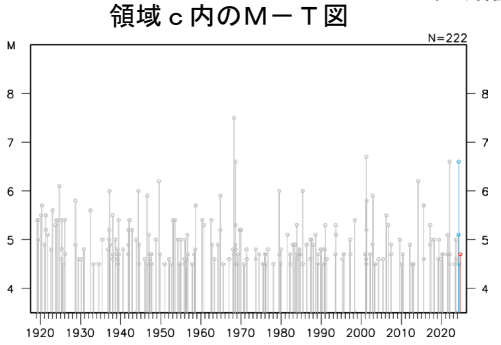


2024年９月20日21時22分に豊後水道の深さ41kmでM4.7の地震（最大震度４）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は東西方向に張力軸を持つ正断層型である。今回の地震の震源付近では、2024年４月17日のM6.6の地震（最大震度６弱）の発生以降、地震活動が活発となった。その後、地震活動は次第に減衰してきているものの継続している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、M4.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1968年８月６日に発生したM6.6の地震（最大震度５）では、愛媛県を中心に負傷者22人、宇和島では重油タンクのパイプ破損により、重油170klが海上に流出するなどの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。また、「平成13年（2001年）芸予地震」では、死者２人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

震央分布図
（1919 年１月１日～2024 年９月 30 日、
深さ０～100km、M≧4.5）
2024 年４月 17 日～８月 31 日の地震を水色で表示
2024 年９月の地震を赤色で表示
それ以外の期間の地震を灰色で表示



領域ｃ内のＭ－Ｔ図